

多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり(ジェンダー)

1 背景

- (1) 人口減少対策において市が重視している数字は、10代の社会減を20代の社会増でどれだけ取り戻したかを示す「若者回復率」(表1)である。
- (2) その推移を男女別に見ると、2015年国勢調査(2010→2015年)と2010年国勢調査(2005→2010)とで、男性が17.5ポイント増加して52.2%となったのに対し、女性は6.7ポイント減少して26.7%となっている。女性は、男性の約半分の率でしか豊岡に帰ってきてないことが分かる(表2)。
- (3) 市は、その背景に、豊岡がいわゆる「男社会」であって、様々な場面において女性の居場所と出番が少ないことがあるのではないかと考えている。
- (4) 大都市、大企業においては、近年、労働力不足対策や多様性確保対策の観点から、女性の働きやすい職場づくりが進んでいることが指摘されている。
- (5) 他方で市内企業においては、女性が働きやすい職場づくりへの取組があまり進んでいないと考えられることから、対応が求められている。

表1 <豊岡市 年齢性別・純移動 (2010→2015年) >

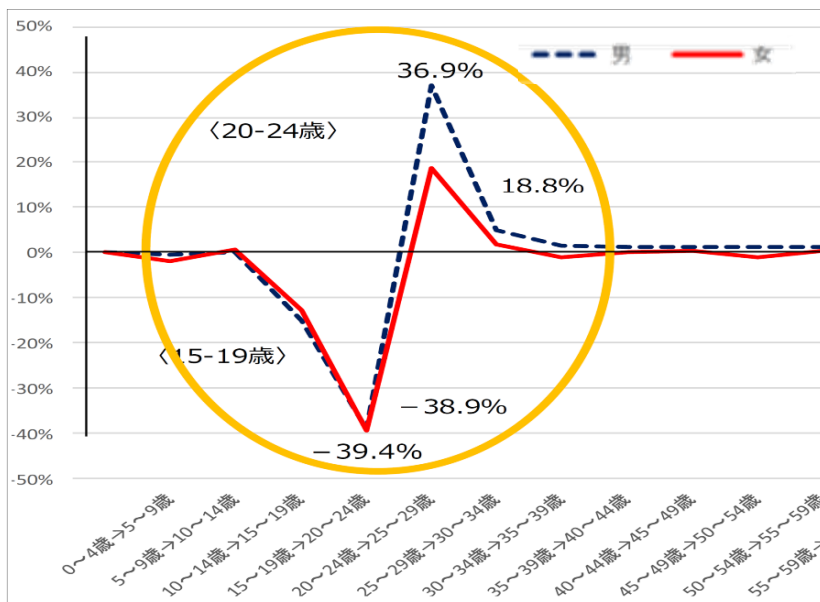
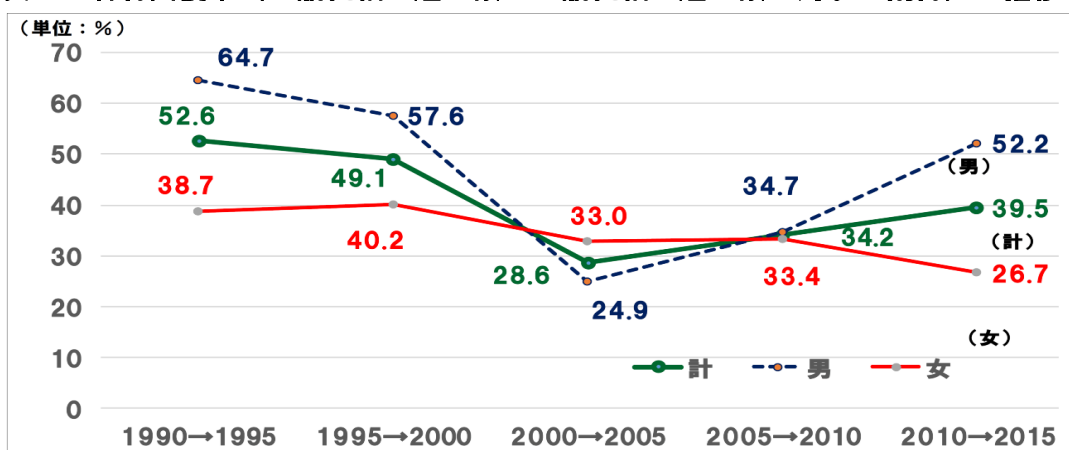


表2 <若者回復率 (20歳代転入超過数の10歳代転出超過数に対する割合) の推移>



2 事業の目的

基本構想に定める「多様性を受け入れ、支えあうリベラルなまちづくり」の、ジェンダーに関する取組みを進める。

とりわけ、女性が働きたい職場(働きがいがあって、働きやすい職場)への変革を市内企業に促すことにより、女性がいきいきと働く企業を増やす。さらに、市内企業における女性の活躍を「見える化」することにより、家庭や地域における女性の居場所と出番を増やす。

豊岡市役所における改革も進める。

3 事業の構成

(1) 新たな戦略の策定〔第3回豊岡市議会定例会(6月議会)に予算提案中〕

ア 豊岡市ワークイノベーション戦略の策定 (UIターン戦略室)

(ア) 事業内容

「女性にとって働きがいがあり、働きやすい企業」について関心がある、市内企業と協働し、その手法等を検討する。

a 従業員と管理職のコミュニケーションの充実や、長時間労働の見直しなど、企業の変革の手法を検討する。

b 変革に取り組む企業に対し、市が支援できる事業等を検討する。

【例】変革に取り組む企業へのアドバイザー派遣など

(イ) 事業期間

平成30年度

(ウ) 予算

4,248千円

※ 戦略策定アドバイザー業務委託料等

イ 豊岡市役所キャリアデザインアクションプランの策定 (職員課)

(ア) 事業内容

性別に関わらず能力や個性が十分に発揮され、女性が組織で活躍する姿の実現を目指す。

【例】政策立案の場で女性が活躍する姿、管理職を目指す女性の増加など

(イ) 事業期間

平成30年度

(ウ) 予算

3,696千円

※ アクションプラン策定アドバイザー業務委託料等

(2) 先行事業の実施(当初予算事業)

ア 保育士等確保推進事業 (こども育成課)

※ 別紙「資料7-①」のとおり

イ 子育て中の女性の就労促進事業 (環境経済課)

※ 別紙「資料7-②」のとおり

ウ ジェンダー平等に関する調査・研究（戦略的政策室）

(ア) 事業内容

豊岡市の女性のおかれている現状やジェンダー平等について、社会・経済状況を踏まえながら多角的に調査・分析する。

- a 既存の世論調査や統計データを利用した分析
- b ヒアリング等による女性の「生の声」の収集

(イ) 事業期間

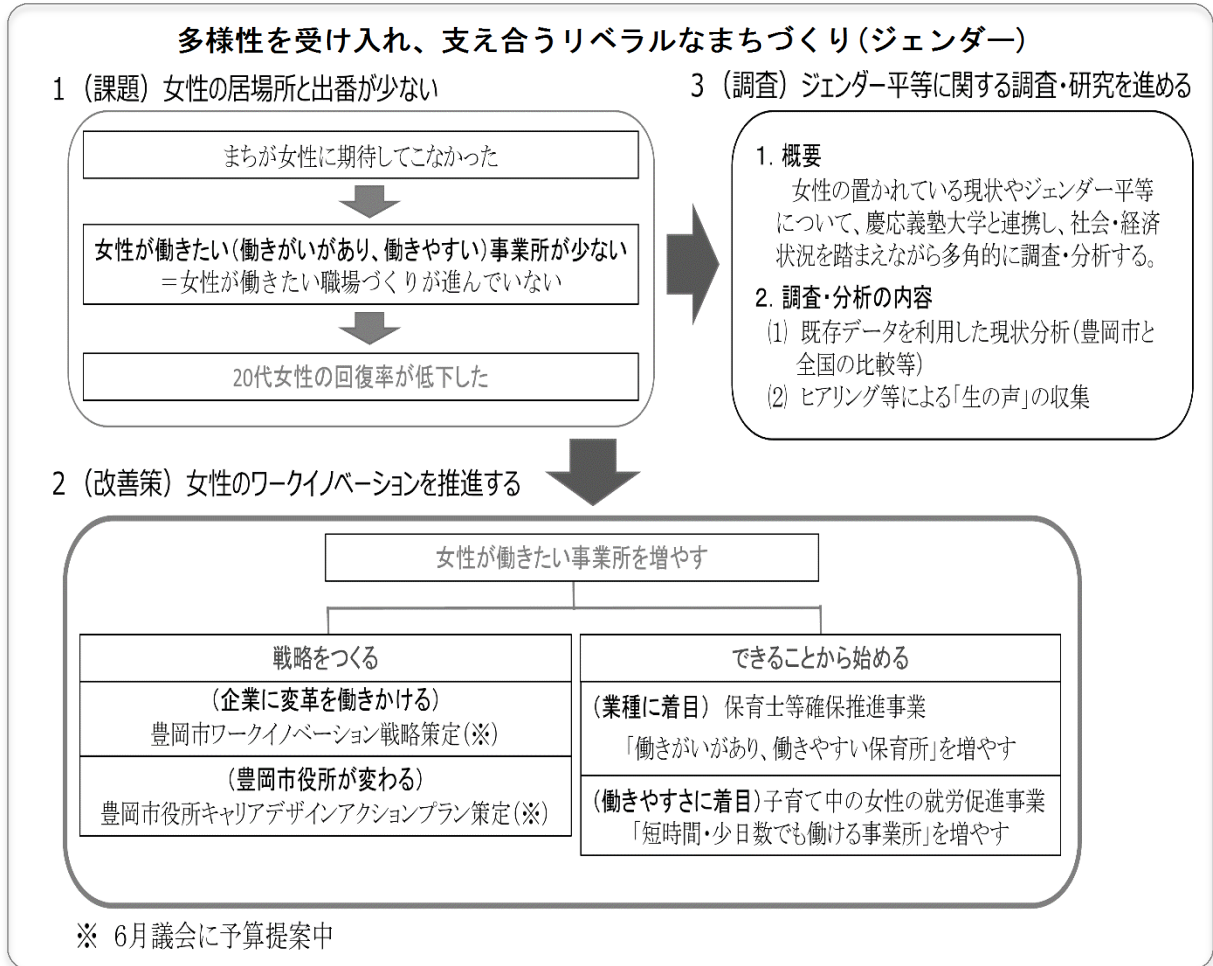
平成30年度

(ウ) 予算

2,000千円

※ 地方自治体政策検証負担金（豊岡市・慶応義塾大学共同研究）

4 取組みの全体像



- [問合せ] 全体に関わること 豊岡市政策調整部政策調整課 TEL 0796-21-9022
- 3(1)アの事業 豊岡市環境経済部UIターン戦略室 TEL 0796-21-9004
 - 3(1)イの事業 豊岡市総務部職員課 TEL 0796-23-1326
 - 3(2)アの事業 豊岡市教育委員会こども育成課 TEL 0796-29-0053
 - 3(2)イの事業 豊岡市環境経済部環境経済課 TEL 0796-23-4480
 - 3(2)ウの事業 豊岡市政策調整部戦略的政策室 TEL 0796-21-9118